

令和元年度事業報告書

元年度事業のポイント

◆平成時代最後の「春の花と緑のフェスティバル」

長年に亘り春の恒例行事として親しまれている「春の花と緑のフェスティバル」は平成時代に尼崎市の花と緑のまちづくりに大きな貢献が認められた市民団体に対し市長感謝状を贈呈するなど、平成最後に相応しい内容で開催した。

◆上坂部西公園内に新たな展示施設オープン

前年度に中央公園パークセンターが観光案内所に用途変更されたことに伴い、新たに上坂部西公園内に設置された展示施設は、4月29日のフェスティバル開催当日をこけら落としとしてスタートし、緑化や園芸団体等の展示会を多数開催するなど、主に団体の成果発表の場として活用した。

◆絶滅危惧植物「オガサワラグワ」の受入れ

小笠原諸島固有の樹木で国の絶滅危惧種に指定されている「オガサワラグワ」について、国立森林総合研究所が取り組んでいる「オガサワラグワ里親計画」に協力して上坂部西公園（尼崎市都市緑化植物園）で受入れを行うなど、植物多様性の保全に取り組んだ。

◆尼崎中高年事業(株)解散に伴う同社緑化部門受入れの決定

前年度から進められてきた尼崎中高年事業(株)解散に伴う同社緑化部門の受入れについては、6月の理事会及び評議員会において示された尼崎市としての考え方を踏まえ検討を進め、11月に理事会において受け入れることの意味決定を行い、12月の評議員会への報告を経て協会内部の意思統一を図り、令和3年度に向けて事務を本格的に推進していく環境を整えた。

◆新型コロナウイルス感染症対策の取りまとめ

世界各国に広がり、甚大な感染者が出ている新型コロナウイルスによる感染症（COVID-19）に対し、国及び市の方針を踏まえた各種対策を取りまとめ、未知のウイルスが引き起こす事態に備える準備を行った。尚、感染防止のため行事等は中止にするなど、年度終盤の事業に大きな影響が出た。

【事業活動部門】

◆ 公益目的事業

I 公益1事業

(緑化普及啓発フィールド公園などを活用した普及啓発、利用促進並びに都市環境緑化の推進事業)

《管理施設》

・緑化普及啓発フィールド公園

名 称	フィールドの特徴
上坂部西公園 (尼崎市都市緑化植物園)	都市緑化植物園；花と緑の学習空間
元浜緑地	キッズランド；子ども達の遊びと学び
大井戸公園	ローズガーデン；バラを通じてのボランティア活動空間
近松公園	日本庭園風公園；植物と文化の歴史空間
宮内公園	梅と茶室のある公園；観梅茶会
中央公園西側芝生広場	チューリップ大型花壇；さつき・菊花展示会
祇園橋緑地	緑の散歩道
蓬川バラ園	川岸のバラ園

・その他の公園緑地

名 称	フィールドの特徴
西武庫公園	利用団体のネットワーク
尼崎の森中央緑地	参画と協働による生物多様性の森づくり

1 緑の相談所及び緑化普及啓発フィールド公園事業

(1) フィールド公園の自然を活用した催し

フィールド公園内の花や生物などの自然とふれあう催しを実施し、多くの市民の方々に公園へ足を運んでいただいて、花と緑がもたらす効用や、生物多様性を考える機会を創出した。

・フィールド公園内の自然を活用した催事一覧表

開催日	対象植物等	開催場所	参加者数	内 容
5月18日	武庫一寸ソラマメ試食会	上坂部西公園	50名	園内で育てた伝統野菜の試食
6月8日	季節の花散策～アジサイ～	元浜緑地	33名	現地相談、クイズラリー
7月21日	植物園であそぼう	上坂部西公園	約500名	生き物とのふれあい、工作教室、昔あそび体験など
11月3日	季節の花散策～バラ～	大井戸公園	388名	園内散策、クイズラリー
12月15日	冬の昆虫観察会	上坂部西公園	25名	ゴマダラチョウの幼虫探し
2月16日	野鳥観察会	上坂部西公園	—	雨天中止
合 計		5回開催	約996名	



(兵庫一歩ソラマメ試食会)



(季節の花散策 アジサイ)



(冬の昆虫観察会)

(2) ボランティアとの協働の取組

上坂部西公園をはじめとする普及啓発フィールドの基幹公園で立ち上げた公園ボランティアグループと連携し、市民協働の公園運営に取り組んだ。

① グリーンヘルパーとの協働の取組

花と緑に関する学習や研究に取り組む市民ボランティアグループ「尼崎市都市緑化植物園グリーンヘルパー」の皆さんが、当協会と連携のもと上坂部西公園を拠点に月2回の定例活動などを実施した。

- ・登録人数 17名
- ・定例活動日 毎月第2・4土曜日
(上記以外にも日常的に水やり等の作業などを多数実施)
- ・活動内容 今年度も、公園内の一部の花壇の植替えや管理、植物園ガイドなどの活動に取り組んだ他、春の花と緑のフェスティバル等協会が開催するイベント・催しの運営にも引き続き協力した。また、兵庫県が小学4年生を対象に実施する環境学習にサポーターとして登録し、10校31クラス994人の生徒を受け入れて上坂部西公園の樹木ガイドを行うなど、工夫を凝らした質の高い活動を実施した。



(植物の植替え作業)



(植物園ガイド)



(小学生対象の環境学習)

② ローズAMAとのバラ栽培管理の取組

大井戸公園においてバラ栽培管理ボランティアを募り、ローズAMAの名称で月1回ボランティア活動を実施した。たくさんのバラが咲き誇る当公園のバラ管理に欠かせないグループとして、大変手間が掛かるバラ管理作業に活発に取り組んだ。

- ・登録人数 28名
- ・定例活動日 毎月第1木曜日
(上記以外にも日常的に
花柄摘み等の作業を実施)
- ・活動内容 花がら摘み、除草、施肥など季節に
応じたバラの栽培管理作業を実施し
た他、公園で開く催しの運営にも協
力した。



(ローズAMAの作業風景)

③ 近松公園アヤメクラブのアヤメ園整備の取組

アヤメ園の除草や枯れた花の刈り取りを行なって景観を整えるなど、各種整備に取り組んだ。

- ・登録人数 5名
- ・定例活動日 毎月第2水曜日
- ・活動内容 除草や施肥、薬剤散布、株分け等の
管理作業を実施した。



(アヤメクラブの活動の様子)

④ 元浜緑地アジサイクラブの株数増加などの取組

踏圧などで衰退していたもみじ池周辺のアジサイを再生させるため、挿し木したものを育成して植え付け、花数の増加に取り組んだほか、日照を遮っていた樹木の剪定や防草シート等の補修を行うなど、幅広い活動を実施した。

- ・登録人数 7名
- ・定例活動日 毎月第1火曜日
- ・活動内容 アジサイ園の清掃、除草、灌水、剪
定や防草シート、灌水チューブの補
修などの管理作業、挿し木や補植な
どの増殖作業などを行った他、ムス
カリ球根の植付なども実施した。



(アジサイクラブの活動の様子)

(3) 仕事体験等の受入

兵庫県が中学2年生を対象に職場体験として実施している「トライやるウィーク」や、障がい者の方々の“しごと”との接点拡充のために取り組んでいる「障がい者しごと体験事業」などの取組の意義に賛同し、上坂部西公園や西武庫公園等の管理公園で対象者を受け入れ、各事業の趣旨を踏まえた作業等の体験の場を提供して、緑化普及の立場からの社会貢献に取り組んだ。

事業名称	回数・団体数	受入人数
中学生のトライやるウィーク	7校	23名
障がい者しごと体験事業	2回	4名
社会的な居場所づくり事業	今年度は申込無し	
合計	7校・2回	27名



(トライやるウィーク)



(障がい者しごと体験)

(4) 尼崎市が主催する他事業との連携

① 未来いまカラダポイント事業への協賛

尼崎市が実施する「未来いまカラダポイント事業」に協賛し、当協会が指定するボランティア活動の参加者にポイントを付与して、一定のポイント（1000ポイント）を貯めた方は、そのポイントをフラワーギフト券と交換するサービスを提供した。

活動場所	参加者数	付与したポイント
上坂部西公園	187人	9,350 p
西武庫公園	9人	450 p
チューリップ運動花壇	4人	200 p
合計	200人	10,000 p



(ボランティア活動の様子)

※1回の参加で50ポイント進呈

② みんなのサマーセミナーへの参加

尼崎市などの主催で開催する真夏のビッグイベント「みんなのサマーセミナー」に参加し、受講者を募って植物に関する楽しい講座を開き、緑化普及を推進した。

- ・実施日 8月4日（日）
- ・場 所 尼崎市立琴ノ浦高等学校
- ・受講者数 20名
- ・内 容 多肉植物の育て方の講義

※イベント全体として、8月3日、4日の二日間に亘って開催され、347講座を開いて、およそ6,300人の参加者があった。



(セミナーの開催状況)

(5) 講習会事業

緑の相談所などでの園芸等の講習会や、ボランティア活動参加のきっかけづくりを目的として実施する体験型花壇講習、申込を受けて開催する依頼講習等、様々なニーズを充たす各種講習会を年間を通して多数実施した。講習会の内容は超高齢化社会の中での生きがいづくりや生涯学習に焦点を置いた講習から、次世代を担う子ども向けのものまで幅広い年齢層を対象に設定し、また、尼崎市の住環境を考慮したベランダでの植物栽培や、室内で植物を楽しむインドアグリーンの手法をレクチャーする講習など、多様な視点からすそ野の広いメニューを企画し、市民の方々に提供した。

① 緑の相談所などにおける講習会

上坂部西公園緑の相談所(受託事業)

講習会名 / 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計		
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	
初心者のための盆栽教室		13											1	13	
植物園ガイド		35	16			10	18	28		34	11		7	152	
武庫一寸ソラマメ収穫体験		11											1	11	
山アジサイのこけ玉作り			10										1	10	
寒蘭の夏の管理			17										1	17	
インドアグリーンを楽しもう					10								1	10	
ベランダ園芸							23	21					2	44	
庭木の剪定								10					1	10	
しめ縄づくり									30				1	30	
クリスマスローズの育て方											12		1	12	
計	回数	0	3	3	0	1	1	2	3	1	1	2	0	17	—
	人数	0	59	43	0	10	10	41	59	30	34	23	0	—	309

※コロナウイルス感染拡大防止のため3月開催予定の講習会（3回）は中止

上坂部西公園緑の相談所(自主事業)

講習会名 / 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
菊作り	15	10	10	13	8	11							6	67
皐月盆栽	12	8	14	10		6	8	12	9	7	7		10	93
小品盆栽	26	14	19	19	7	14	12	22	21	12	17		11	183
洋ラン	11	5				5							5	41
	9	11												
計	回数	5	5	3	3	2	4	2	2	2	2	0	32	—
	人数	73	48	43	42	15	36	20	34	30	19	24	0	—

※コロナウイルス感染拡大防止のため3月開催予定の講習会（3回）は中止



(山アジサイのこけ玉作り)



(庭木の剪定)



(ベランダ園芸)



(ベランダ園芸)



(インドアグリーンを楽しもう)



(小品盆栽)

体験型花壇講習(受託事業)

講習会名 / 月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	
														回数	人数
上坂部西公園			9				11		21					3	41
中央公園			11											1	11
元浜緑地							7							1	7
大井戸公園										10				1	10
計	回数		2				2		1	1				6	—
	人数		20				18		21	10				—	69



(上坂部西公園や中央公園などで開催した体験型花壇講習)

② 依頼講習会の開催状況

講習会名 / 月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	
														回数	人数
尼崎市立身体障害者福祉センター			5		5			8		8				4	26
上坂部小学校			50											1	50
阪神シニアカレッジ								36						1	36
計	回数		2		1			2		1				6	—
	人数		55		5			44		8				—	112

(6) 展示会事業

花や緑に関連する幅広い展示会を年間を通じて多数実施し、多彩な展示作品を多くの方に鑑賞いただくことにより、花・緑の素晴らしさを広く発信した。

なお、花や緑に関する市民団体等の発表の場として多くの展示会を開いてきた中央公園パークセンターが観光案内所に用途変更されたことに伴って上坂部西公園内に新たに設置された展示施設を、4月29日の春の花と緑のフェスティバル開催日に合わせて利用開始し、多数の来場者を迎え、緑の相談所と連携し展示会の充実に努めた。

展示会名	開催期間	場 所	区別	内 容	来場数
ベゴニア展	4/22～ 5/ 6	上坂部西温室	受託	リーガスベゴニア、木立性ベゴニアなど約200鉢のベゴニアを展示	3,076人
みどりとやきもの展	5/17～ 5/19	展示施設	自主	クボタ久友会陶芸会員が作った「やきもの」に植物を添えた作品を展示	296人
第19回 初夏の山野草展	6/ 7～ 6/ 9	展示施設	自主	初夏の風情あふれる小品盆栽を展示	585人
游鉢展	6/14～ 6/16	展示施設	自主	ヤシガラ繊維を使った手作りの鉢に初夏の植物を植え込んだ作品を展示	124人
寒蘭展～新芽会	6/28～ 6/30	展示施設	自主	新芽を楽しむ「新芽会」	230人
身近な野鳥写真展	7/21～ 8/28	展示施設	自主		1,213人
こども写真ミュージアム展	9/ 1～ 9/15	展示施設	自主	上坂部西公園でこども達が自由に撮影した写真を展示	478人
武庫之荘ヒマラヤ杉展	9/ 8～ 9/29	上坂部相談所	自主	前年の台風21号で倒れた武庫之荘駅前のヒマラヤ杉で染色した布のテキスタイルアート	4,380人
豆盆栽展	9/20～ 9/22	展示施設	自主	10cm前後の小品盆栽約20席を展示	588人
游鉢展	10/ 4～10/ 6	展示施設	自主	ヤシガラ繊維を使った手作りの鉢に秋の植物を植え込んだ作品を展示	541人
みどりとやきもの展	10/11～10/14	展示施設	自主	クボタ武庫川陶芸会会員が作ったやきものに植物を添えた作品を展示	317人
尼崎こんなところに! こんな植物展	10/13～11/ 8	上坂部相談所	自主	尼崎市内で見つけたレアな植物を紹介	5,600人
第38回 小品盆栽と山野草展	10/18～10/20	展示施設	自主	尼崎小品盆栽山草会会員が育てた秋の風情あふれる小品盆栽を展示	781人
秋季さつき樹形展	10/25～10/27	展示施設	自主	尼崎臈月協会会員が育てた臈月盆栽を展示	309人
寒蘭展	11/ 8～11/10	展示施設	自主	花の咲いた寒蘭を展示	277人
草木染め展	11/15～11/18	展示施設	自主	草木染めから発展した作品100点を展示	221人
秋咲き椿展	11/24	展示施設	自主	コーベカメラアソサエティ会員が育てた秋咲きの椿を展示	52人
園内で見られる野鳥写真展	11/25～12/25	上坂部相談所	自主	公園に暮らす様々な野鳥の写真を展示	6,592人
花と緑の墨彩画展	11/29～12/ 1	展示施設	自主	色紙に墨や顔料で描いた花や緑の作品20点を展示	103人
冬を彩る鉢花展	12/ 2～12/18	上坂部西温室	受託	冬を彩る華やかな鉢花を展示	2,509人
秋の洋ラン展	12/ 6～12/ 8	展示施設	自主	尼崎洋ラン会会員が育てた秋咲き洋ランを展示	373人
地球環境世界児童画 コンテスト作品展	1/ 5～ 1/19	上坂部相談所	自主	環境をテーマにした児童絵画コンクールの受賞作品を展示	1,942人

展示会名	開催期間	場 所	区別	内 容	来場数
市民の洋ラン展	1/31～ 2/ 2	展示施設	自主	尼崎洋ラン会会員が育てたランを展示	528人
早咲き椿展	2/ 9	展示施設	自主	コーベカメラアソサエティ会員が育てた春咲き椿約120種を展示	295人
明治から戦前までの園芸カタログ展	2/11～ 2/24	上坂部相談所	受託	明治以降に印刷された園芸カタログより戦前までの園芸の流れを紐解く	1,628人
小品盆栽とうつわ展	2/14～ 2/16	展示施設	自主	小品盆栽と手作りのうつわを展示	290人
クリスマスローズ展	2/22～ 2/29	展示施設	受託	原種18種と交配種のクリスマスローズを展示	1,414人
花を楽しむ多肉植物展	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止				
2019 あまがさきフラワーガーデニングコンテスト入賞花壇写真展					
春の椿展					
受託事業 4回 自主事業 23回 合計 27回 延べ開催日数 252日 来場数34,742人					



(遊 鉢 展)



(冬を彩る鉢花展)



(草木染め展)

(7) 緑の相談業務

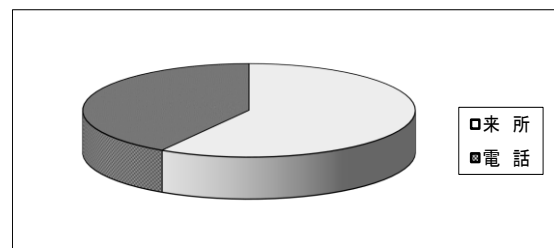
上坂部西公園緑の相談所において、当協会園芸相談員等の専門家を配し、緑化園芸相談を年間を通して実施した。相談にあたっては、相談者のレベルに応じたわかりやすい説明に留意するなど、多様なニーズに的確に応えるよう努めた。

① 相談所利用状況

来所・電話別

来 所	電 話	合 計
2,382	1,674	4,056
58.7%	41.3%	100%

※1人当たり複数の内容の相談を受ける場合があるため、年間の相談件数は5,357件にのぼる



② 主な相談内容

草花や野菜、果樹等の育成方法や樹木の手入れ、病虫害の防除、土づくり、植物の分類など多岐に亘り、ビギナーから上級者まで丁寧に対応した。

(8) 環境教育の推進

① 植物園であそぼうの開催

都市緑化植物園に指定されている上坂部西公園を舞台に、子ども向けイベント「植物園であそぼう」を開催した。この催しは、次世代を担う子ども達の環境教育の一環として企画し、兵庫県立人と自然の博物館や自然と文化の森協会の方々とも連携して実施したもので、大きめの石や朽木の下などに生息する昆虫探しや、園内を流れる昆陽川に棲む生きもの調査など、生物多様性を考える要素を取り入れた植物園らしい内容を盛り込むとともに、楽しい昔あそびコーナーも設け、遊びながら学ぶ行事として実施した。

- ・開催日 7月21日(日)
- ・場所 上坂部西公園(尼崎市都市緑化植物園)
- ・参加者数 約500人
- ・内容 ひとつく号、昆虫探し、昆虫の展示、工作教室、川の生きもの調査、昔あそびコーナー等



(植物園であそぼうの開催風景)

② 子ども達との植物栽培の取組

兵庫県が進める「のじぎくの里づくり事業」の一環として、上坂部小学校栽培委員の方々と共に、県花のじぎくの植付けを行った。当日は生徒を中心に50名を超える参加があり、緑の相談所の職員や園芸相談員の指導の下、植付作業に取り組んだ。また昨年度から開始した「たねダンゴ」プロジェクトについても継続して実施した。「たねダンゴ」とは土に肥料や水分などを加えて作った泥ダンゴに種を付けて花壇などに植え付ける栽培方法で、遊び感覚で花に親しんでもらえる上に、ダンゴなので風



(県花のじぎく植付け)

雨に強く、また保水・保肥性があるので初期生育を助ける効果もある。本年度もヒャクニチソウやコスモスの種を使って当協会園芸相談員が子ども達を指導して「たねダンゴ」を作り、学校の花壇に植え付ける作業を行った。

(9) 植物多様性の保全

小笠原諸島のみで自生する日本固有の樹木で、国指定の絶滅危惧類に指定されているオガサワラグワを保護する取組、「オガサワラグワ里親計画」に賛同し、上坂部西公園（都市緑化植物園）で里親として受入れを行った。受入にあたり、この計画に取り組んでいる国立森林総合研究所の研究者の方が、勤務地である茨城県から当園まで直接苗木を運んで来られことから受渡式を執り行い、歓迎の意を表した。

当園では、前年10月に市内で発見された兵庫県の絶滅危惧種Aランクに指定されているシダ植物のデンジソウをはじめ、ヒメバラモミやジュラシクツリー、サボテン類など79種の国内外の絶滅危惧植物を保存、展示しており、日本植物園協会加盟園として絶滅危惧植物の保有状況調査及びリスト作成や「絶滅のおそれのある野生植物の種の国際取引に関する条約（ワシントン条約）」に抵触する植物の保管を行なうなど、植物多様性保全に重点を置いて取り組んでいる。



(オガサワラグワの展示と受渡式)

(10) 循環型社会形成への貢献

①剪定枝のチップ化によるリサイクル

従来は焼却処分していた剪定の際に発生する枝等を、協会が保有している樹木粉砕機でチップ化して再利用する取組を今年度も実施し、二酸化炭素排出量の抑制に努めた。

今年度のチップ化作業では、尼崎の森中央緑地で発生した間伐材や剪定枝を粉砕して21 m³のウッドチップを作り出し、上坂部西公園や中央緑地で園路に敷き均したり、植栽苗木の足元に雑草抑制のためのマルチング材として敷き詰めるなどの有効活用を行った。



(粉砕機によるウッドチップづくり)



(園路に敷き均したウッドチップ)

②マリーゴールドによる害虫駆除の取組

マリーゴールドは、畑や花壇の土にすき込むと土壌中の有害線虫を減らす効果があることから、花壇の植え替えで抜き取った株を、市民の方々に利用方法を説明して配布し、農薬を用いない環境にやさしい害虫駆除方法を推奨した。

(11) 花と緑の情報発信

① ホームページの活用

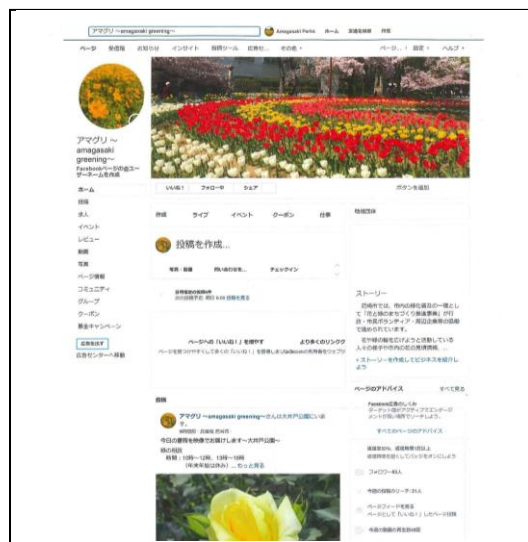
当協会のオリジナルホームページを活用して、管理している公園に植栽されている植物の開花情報やイベント案内などの最新情報をアップするとともに、今月の園芸作業や市民農園情報、ボランティアグループや趣味の団体の紹介コーナー、日常の情報を手軽に発信するスタッフブログ等利用者のニーズに沿った情報を提供した。

情報発信(更新)回数	115回	HP訪問数(アクセス数)	38,795件
------------	------	--------------	---------

② Facebook「アマグリ」の活用

尼崎市が開設した、緑化関連のFacebook「アマグリ」を活用して公園での花や緑の見頃情報や、緑化行事の紹介などをリアルタイムで発信し、ネットワークでつながるユーザーへの情報提供(情報拡散)を行った。SNSを利用した情報発信については、当協会事業への関りが比較的少ない若者世代へのアピールに効果的であるため今後も強化に努めていく。

情報発信(更新)回数	370回
------------	------



③ 緑の相談所だよりの発行

年4回の四季発行で、季節ごとのトピックや催し等の広報を中心に、話題の植物や希少な植物の情報、ガーデニングのアドバイス等幅広い方に興味を持たれる構成に努め、読者層の拡大に留意するとともに緑の相談所事業のPRにも意を用いた。



(緑の相談所だよりの表紙)

- ・発行部数 各号4,000部発行。但し春号はフェスティバルを広報するため4,500部発行。年間発行数16,500部
- ・主な配布先 本市緑の相談所、本庁、支所、公共施設、金融機関の待合等で市民配布。また学校、近隣緑の相談所、賛助会員及び花いっぱいの会々員に送付

④ 緑の相談所での情報発信

上坂部西公園において、協会職員手作りのイラストマップを活用して園内の植物の案内やイベント開催時の会場図を作成・配布したり、管理公園の花木の特徴を説明した「園内セルフガイド」を掲示するなどの情報発信を行い公園散策の魅力を広く伝えた。



(イラストマップによる会場図)

また、市内の花・緑の名所のパネルを制作・展示し、本市の緑の見どころを紹介する取組を行った。

⑤ 観光情報施設からの情報発信

阪神尼崎駅前に新たにオープンした「尼崎観光案内所（旧中央公園パークセンター）」や、JR尼崎駅構内に開設されている、あまがさき魅力案内所「あまらぶ i+Plus」に公園パンフレットや緑の相談所だより等の印刷物を提供し、多数の乗降客に向けて緑化情報を発信した。



(観光案内所)



(あまらぶ i+Plus)

⑥ 公園掲示板等の活用

上坂部西公園を始め各管理公園に設置している公園掲示板を活用し、花と緑のイベント情報や花の開花情報等を公園利用者の方に提供した。

また上坂部西公園では、協会と来園者の皆さんが双方向で園内の開花情報を発信し合う「みんなで作る！開花情報」案内板を設置して季節の開花情報の共有化を図るなど、都市緑化植物園の特徴を活かした取組を行った。

⑦ 協会パンフレットの作成・配布

当協会の成り立ちや事業概要、管理公園などを紹介した、A4版三つ折りの手持ちサイズのパンフレットを手作りで作成・配布し、協会のPRに活用した。

⑧ FMあまがさきからの情報発信

地域密着のコミュニティ放送局である「FMあまがさき」に定期的に出演して、当協会が関わるイベントや、講習会・展示会の案内、病気・害虫対策等の園芸相談など、様々な花・緑情報を発信した。

担 当	放送回数	放送内容
上坂部西公園緑の相談所	26回 (月2回程度)	<ul style="list-style-type: none"> ・講習会、展示会の案内 ・春の花と緑のフェスティバルやファミリーフェスタなどのイベント情報 ・害虫対策等の園芸相談 ・ガーデニングコンテストやチューリップ運動の案内 他

(12) 施設等管理業務

① 園地維持管理業務

フィールド公園等の園地部分の清掃、除草、かん水をはじめ、樹木・芝生等の保護育成、花壇の維持管理や流れ等の施設管理業務を適正に実施し、公園の美化や整備に力を注いだ。厳しい財政状況下ではあるが、市内の基幹公園の管理を託されている団体の責務として、できる限り園地の美化に取り組んだ。また、植物管理はもとより、施設等の簡易修繕や消耗品の点検及び補充なども適切に行い、良好な施設維持に努めた。

② 平成30年度台風21号被害からの復旧作業

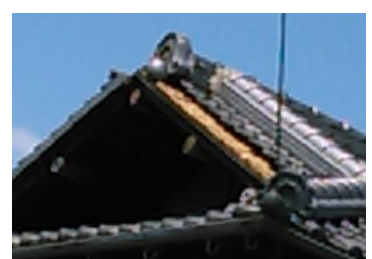
前年度に記録的な暴風で各地に大きな被害をもたらした台風21号による施設の破損や倒木根が多数残存していたことから、引き続きその復旧作業を行い、良好な園内環境の回復に取り組んだ。



(剥離した緑の相談所の屋根材)



(持ち上がった倒木根)



(宮内公園茶室屋根瓦破損)

③ 元浜緑地わんぱく池運営管理業務

子供達が水遊びのできる約750㎡の施設で、手こぎいかだ等の水の遊具や樹形の噴水・水のカーテンが設置されているわんぱく池の運営管理業務を受託し、水遊び遊具の点検や水質管理等、多数の利用者が安全に楽しめるよう努めた。

〔開園期間 6月9日(日)～9月8日(日)〕

開園日数	利用者数	1日平均利用者数	最高利用者数
78日	36,124人	463人	1,970人[7月28日(日)]



④ 元浜緑地駐車場管理運營業務

緑地利用者専用駐車場の管理運營業務を受託し、公園利用者の利便を図った。

開場日数	普通車入庫数	大型車入庫数	総入庫数	1日平均入庫数
360日	14,953台	30台	14,983台	42台

⑤ その他施設管理

上坂部西公園緑の相談所や元浜緑地管理棟の電気点検、消火器点検等の施設管理業務を法令等に基づき、適正に実施した。

2 西武庫公園管理運營業務

今年度も西武庫公園の管理運営を継続して受託し、公園利用団体等から構成される「西武庫公園ネットワーク会議」の事務局として、公園での催し（冒険広場がやってきた！）の企画等の意見を取りまとめるなど、利用者目線での利活用、運営を心掛けるとともに、活動等の情報発信にも留意した。

また、花づくりボランティア「西武庫公園フェアリーズ」との協働作業で、園内の花壇に植栽する取組を行った他、公園を活用した緑化普及啓発活動としては、「盆栽展」や「しめ縄づくり」講習の開催、様々な市民・団体と協働で園内清掃活動を実施するなど、当協会の特色を活かした各種取組を行い、加えて公園の維持管理や駐車場、ゆめハウスなどの施設管理についても適正に実施した。

(1) 西武庫公園での緑化普及啓発の取組

月 日	日数	取組名称	参加者数	内 容
10月26日	1日	多肉植物の寄せ植え体験 (ふれあい広場武庫21内)	40名	多肉植物を竹の器に寄せ植えする体験講座をイベント内で実施
12月14日	1日	しめ縄づくり	20名	お正月に飾るしめ縄を作成
2月1日 ～ 2月16日	16日	地球環境世界児童画コンテスト作品展	約320名	地球環境をテーマに世界の児童が描いた作品20点を展示
計	18日	3回	約380名	



(多肉植物寄せ植え体験)



(しめ縄づくり)



(世界児童画コンテスト作品展)

(2) 公園を利用した各種取組

月 日	取組名称	内 容
5月19日	春の10万人わがまちクリーン運動	地域住民の方などと協働で園内清掃活動を実施
8月 8日	子ども会と公園作業体験	武庫地区子ども会とベンチのペンキ塗り、水路清掃を実施 親子24名参加
10月 3日	武庫地区老人クラブ清掃奉仕活動	武庫地区老人クラブと協働で園内清掃活動を実施
12月 8日	チューリップ球根の植え付け	武庫愛棋会の会員とチューリップを協働で植栽 11名参加



(春のクリーン運動)



(子ども会ペンキ塗り)



(チューリップ植付)

(3) 大規模イベントの協力・実施

月 日	取組名称	内 容
11月23日	冒険ひろばがやってきた！	西武庫公園ネットワーク会議主催で開催する滑車すべり、丸太ころがし、ポップコーンづくりなど、子ども達が「自ら遊ぶ」体験の場 約300名参加



(「冒険ひろばがやってきた！」の開催風景)

(4) 平成30年度台風21号被害からの復旧作業

同公園においても倒木根が多数残存していたことから、引き続きその復旧作業を行い、良好な園内環境の回復に取り組んだ。



(持ち上がった倒木根)

(6) 「西武庫公園フェアリーズ」との協働の取組

- ・登録人数 6名
- ・定例活動日 毎週土曜日
(上記以外にも日常的に灌水等の作業を実施)
- ・活動内容 公園ボランティア「西武庫公園フェアリーズ」の方々と協働で、園内に設置してあるビニールハウスで花苗を生産し、公園内の花壇に植栽して管理を行った他、園内の施設の装飾なども手掛けるなど公園の美化に努めた。



(花苗の育成作業)

(7) ネットワーク会議の開催

・西武庫公園ネットワーク及び冒険広場打合せ会議

回数	開催月日	主 な 議 題	参加者数
第1回	10月19日	西武庫ネットワークの活動、冒険広場 他	13名
第2回	11月2日	冒険広場の実施について 他	6名
第3回	3月21日	新型コロナウイルス感染防止のため中止	—
		計	19名

(8) あまがさき健康ファームの取組

園内の分区園奥の未利用地を活用し、市の健康支援推進担当とタイアップしてスタートした、「あまがさき健康ファーム」の取組を引き続き実施した。この事業は、市の特定検診で物忘れチェックを受診された方を対象に農作業による認知症予防を目的とし農地を有償で提供するもので、併せて緑の相談所の園芸相談員が年間10回程度農作物栽培等の講習を実施する付加価値を加えて運営する貸農園。



(農作物栽培講習会)

・農園栽培講習参加者数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	5	5	6	—	6	6	5	6	4	5	—	×	48

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため3月開催予定の講習会は中止

(9) 西武庫公園駐車場利用状況

公園利用者用駐車場の管理運営業務を受託し、利用者の利便性向上に努めた。

開場日数	普通車入庫数	大型車入庫数	総入庫数	1日平均入庫数
366日	42,274台	25台	42,299台	116台

3 尼崎21世紀の森中央緑地管理運営業務

兵庫県園芸・公園協会、阪神園芸(株)との三者共同体体制で2年目を迎えた当業務については、今年度も引き続き環境学習の各種プログラム実施や森づくり活動の支援、緑地及び施設の維持管理等を担当し、加えて各種集客イベントにおいても十分な協力体制を敷いて取り組むなど、緑地の美化と事業目的達成に努めた。今年度も高いハードルが設定されている来園者目標数を達成するため、主催行事や持ち込みイベントの誘致など数多くの催しを開催し、着実に入園者数を増やしたが、3月に入り新型コロナウイルス感染防止のため主催イベントが中止になったことから、25万人の目標数に僅かに及ばない、248,810人の来園にとどまった。

また、市報への記事掲載や、協会ホームページ、ブログを活用した催し等のPR、緑の相談所をはじめとする各施設でのチラシ等の配布や掲示など、21世紀の森の認知度を向上させるための各種情報発信にも注力した。

・魅力アップ事業（県市共同事業）

事業名称	内 容	参加者数
環境体験事業（県事業）	県内の小学校児童を対象にした環境学習	2,416人
環境体験事業（尼森独自事業）	幼稚園等上記以外の児童、生徒を対象	701人
環境体験プログラム1	季節ごとに異なる自然環境を楽しく学ぶ	453人
環境体験プログラム2	一般来園者がいつでも気軽に体験	2,952人
環境体験プログラム3	自然に関するより詳しい知識を学ぶ	37人
尼崎の森ファミリークラブ	本市及び近隣市の小1を対象にした植樹	137人
昆虫採取イベント	当緑地に生息する昆虫を捕獲し観察する	470人
森の子育てひろば	阪神間の親子が自然を体感する	120人
環境学習サポーター養成講座	環境体験をサポートするボランティア養成	144人
郷土種グリーンフェスタ	郷土種を使った各種体験プログラム	5,600人
森のマルシェ	阪神間の飲食店等と連携したイベント	5,600人
自由提案イベント	大芝生広場等を活用した大規模集客イベント	10,500人
大規模音楽イベント（誘致）	県と連携し、大規模な音楽イベントを誘致	11,500人



（環境体験学習）



（夏の虫取り楽しみ隊）



（郷土種グリーンフェスタ）

・利用促進事業（県事業）

事業名称	内 容	参加者数
持込み企画誘致・サポート事業	大芝生広場でダンスや音楽イベントの誘致	8,336人
茅葺き民家活用プロジェクト	民家や森を使って里山の暮らしを体験	149人
ひょうごヘルシーパークプロジェクト	ウォーキングやヨガ等の健康づくり	2,300人
スポーツ体験プロジェクト	スポーツの森と連携し、スポーツ体験	3,517人
子育て交流スペース設置	子育て情報コーナーや交流スペース	2,470人
親子で楽しむプログラム	大芝生広場等を活用して親子で楽しめる	171人
森の自由研究フェス	夏休みの自由研究となるような企画	2,000人
森のようちえん	芝生や森等を幼児教育の場として活用	151人
森のお道具箱	間伐材等のクラフト材料を貸し出し	2,470人
生物多様性保全研修プログラム	自治体職員や教育関係者、企業等を対象	66人
森づくり体験講座	種子採取から森育成までの取組を学び体験	66人
森のセルフガイド推進プロジェクト	指導者なしで学習・体験できるセルフガイド	25,235人
尼森防災プロジェクト	地域防災拠点として災害時の対応を訓練	4,418人
森のしくみ作りプロジェクト	当緑地独自の参画と協働の仕組み作り	119人
1000ha 連携プロジェクト	1000ha エリア内の企業、運河関係団体と連携	2,329人
大学連携プロジェクト	近隣の大学との連携による緑地の活性化	160人
森のステップアップ講座	森育成管理の技術向上のための講座	40人
森の会議発案企画サポート	オリジナルの競技を楽しむ運動会	2,500人
森の文化祭	近隣地域へのPRを目的にしたイベント	3,500人
森の出前講座	他公園や商業施設に出向き森づくりを紹介	650人
尼崎の森中央緑地ガイドツアー	職員と緑地内を巡るガイドツアー	189人
アクセス向上社会実験プロジェクト	バスや自転車アクセス向上の社会実験	1,853人



(森づくり定例活動)



(茅葺き民家プロジェクト)



(森の文化祭)

4 ファミリーフェスタの開催

秋の恒例行事として継続して実施している「ファミリーフェスタ」を、今年度も尼崎の森中央緑地で開催した。この催しは、広大な大芝生広場を会場として、当緑地を共同で管理している県園芸公園協会が主催する「郷土種グリーンフェスタ」、「食のマルシェ」との3催事合同での取組で、郷土の野草の寄せ植えや、ステージイベント、地元グルメの出店等で多数の家族連れが訪れる中、当協会が執り行うファミリーフェスタでは、花と緑の体験ブースや子ども達の各種遊びのコーナーを提供して来園者を招き、秋の休日を楽しんでいただいた。

- ・開催日 10月20日（日）
- ・場所 尼崎の森中央緑地・大芝生広場
- ・参加者数 約5,600人（三つの催事のトータル数）
- ・内容 多肉植物・郷土種植物の植え付け、ゴーカートで遊ぼう、竹馬や竹コッポリなどの昔あそび体験、ふあふあ遊具 等



（多肉植物の植付）



（ゴーカートで遊ぼう）



（昔あそび体験）

5 2019 あまがさきフラワーガーデニングコンテストの実施

街なみ街かどの美しい花壇を各部門ごとに募集して開催している当コンテストは、春花壇に限定していた条件設定を、今年度から参加者の増加を目的として春から秋までに応募期間を拡大するとともに、現地審査から写真での応募に改めて実施した。

- ・募集期間 3月1日（木）～23日（金）
- ・審査日 4月5日（木）・6日（金）
- ・応募総数 28件
- ・入賞花壇数 12件（家庭緑化部門2件、コミュニティ緑化部門3件、
学校緑化部門2件、緑化公園協会特別賞5件）
- ・入賞花壇の写真展示期間 4月29日（祝）～5月25日（金）
3月17日（日）～3月24日（日）

・各部門最優秀花壇



(家庭緑化部門)



(コミュニティ緑化部門)



(学校緑化部門)

6 尼崎市民農園の運営管理

本年度も農園主から管理業務を受託して実施した。市農政課管理時から行っていた入園料徴収事務や入園者の追加募集などに加えて、協会独自事業の農園の巡回点検や利用指導、月1回の市民農園教室開催、各農園掲示板への栽培スケジュールや連作の相性など農作業に役立つ情報の掲示等、利用者の満足度を高める取組を行った。

・各年度ごとの管理農園及び区画の増加数

区分/年度	25年度	26年度	27年度
新規農園数 (累積数)	+4農園 (4農園)	+4農園 (8農園)	+4農園 (12農園)
区画数増減 (累積数)	+312区画 (312区画)	+186区画 (498区画)	+249区画 (747区画)

区分/年度	28年度	29年度	30年度	元年度
新規農園数 (累積数)	+4農園 (16農園)	+1農園 (17農園)	0農園 (17農園)	+1農園 (18農園)
区画増減数 (累積数)	+140区画 (887区画)	+27区画 (914区画)	-3区画 (911区画)	+53区画 (964区画)

※令和元年度は1農園(37区画)が廃園、2農園(90区画)が新設のため、差し引き1農園53区画の増。

・農園教室の開催状況(概ね各農園ごとに開催)

月	開催日	開催回数	テーマ	参加者数
4月	12、15、16、23日	18回	夏野菜の初期管理	134名
5月	9、11、14、17日	18回	夏野菜の管理作業(1)	117名
6月	4、12、13、19日	18回	夏野菜の管理作業(2)	115名
7月	3、9、13、18日	4回	秋冬野菜の栽培ポイント	53名
9月	11、18、19、21日	18回	秋冬野菜の管理(1)	103名
10月	12、15、16、26日	18回	秋冬野菜の管理(2)	96名

月	開催日	開催回数	テーマ	参加者数
11月	7、14、15、21日	18回	野菜の保温栽培	98名
12月	5、11、12、14日	18回	秋ジャガイモ栽培と連作障害の回避	83名
1月	29、31日	4回	春夏野菜の病害虫対策	52名
3月	〈新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止〉			
合計	134回		計851名	



(農園教室の様子)

7 緑の募金事業

兵庫県緑化推進協会が実施する「緑の募金」を、募金箱の設置や幼稚園、小、中、高等学校、事業所、市民及び市職員等を対象に募り、募金された方には緑の羽根を配付した。

なお、緑の募金については緑化推進協会が実施する「森と緑のふれあい支援事業」の原資として様々な緑化普及事業に活用されている。

・緑の募金額 15,806円

8 オリジナルカレンダーの作成

当協会が管理する公園内で咲いた花・緑の写真の中から厳選した写真を使用したオリジナルカレンダーを作成、関係団体に配布した。

- ・カレンダー名称 2020 Amagasaki Flower & Green Calendar
- ・作成仕様 B3サイズ 7枚綴り4色カラー
400部



Ⅱ 公益2事業

(市民ボランティアグループ及び市民運動として展開している花のまちづくりの協働推進事業)

1 花と緑のまちづくり推進事業

(1) 街なみ街かど花づくり運動業務

今年度も引き続き市民ボランティアの花の世話役さんで組織する「尼崎花のまち委員会」の事務局を務め、市民自らの手で花を育てて街を飾ることにより、美しい街なみ景観の向上を図る「街なみ街かど花づくり運動」を推進した。

前年9月の台風21号によって破損し、使用不能となっていたビニールハウス4棟は春の種まき前に市によって新設され、初夏～夏花壇用の花苗育成作業から通常の出組が再開された。

また、スキルアップのためのガーデニング教室や役員対象の指導者向け栽培講習、公園見学会など、会員の知識・技術の向上に力を注ぐとともに、他都市からの視察にも適切に対応するなど、会の発展と運営支援に努めた。



(令和元年度総会の様子)



(指導者向け栽培講習)



(新設されたビニールハウス)

講習会名/月日	6/11	7/9	9/10	10/21	11/12	12/10	修了レポート	修了者
花のガーデニング教室基礎コース	4名	5名	4名	4名	3名	4名	3名	3名

講習会名/月日	6/10	6/24	7/8	9/9	11/18	12/2	修了レポート	修了者
花のガーデニング教室応用コース	4名	5名	5名	5名	5名	5名	4名	4名

ボランティア区分	グループ数	人数
花の世話役さん(市民ボランティア)	120グループ	589名
公共施設の花づくり(市・団体職員等ボランティア)	60グループ	690名
合計	180グループ	1,279名

※ 市民ボランティアの個人会員16名を含む

(2) 花のまちあまがさきチューリップ運動業務

① チューリップ運動の推進

今年度も引き続きチューリップ運動推進会議の事務局として、運動の推進に鋭意取り組んだ。運動開始20年の節目で昨年行った検証結果を踏まえ、各窓口やイベントで販売する球根の種類の内、「百合咲き」や「八重咲き」「フリンジ咲き」などの変わり咲きチューリップの割合を大幅に増やし、マンネリ化解消を図った。変わり咲きは通常のチューリップよりも1球当たりのコストが高いため、1袋当たりの入り数を少なくして販売したため、普及総数は前年比およそ8,600球減の115,500球に留まったが、購入者の反応は概ね好評であった。また、駅前等の市民大型花壇では、サポーター制度を活用して、企業・団体からの寄付拡大を図るなど、当運動の充実に資する各種取組を実施した。

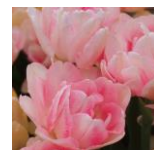
加えて、2万1千本のチューリップが咲き誇り市内屈指の大型花壇である阪神尼崎駅前芝生広場を開花期に間近で観賞できるよう開放し、その中で幼稚園児の写生会や吹奏楽の演奏会を開いた他、20周年の記念行事として「チューリップまつり」を開催するなど、より一層チューリップに親しんでいただけるための取組を、工夫を凝らして行った。



(中央公園の植付風景)



(満開の大型花壇)



(変わり咲きチューリップ)

② 東日本大震災被災地応援プログラム

今年度も引き続き、尼崎市がカウンターパートとして継続支援している宮城県気仙沼市にチューリップ球根を贈呈した。これはチューリップが春を彩り気仙沼市民の皆さんが少しでも和んでいただくことを目的とした取組で、募金活動や企業、団体等への寄付依頼などで資金を確保して実施した。

球根の贈呈数は約1万球で例年どおり気仙沼市の道路植樹帯（国道45号線「花のみち45」）に植栽した。



(目録の寄贈)



(「花のみち45」での植付け風景)

Ⅲ 公益3事業

(尼崎市緑化基金を活用した緑の保全及び緑化催事開催による普及啓発事業)

1 春の花と緑のフェスティバルの開催

緑映え、花開く春の恒例行事となっている「春の花と緑のフェスティバル」を、本年度も4月29日に上坂部西公園（尼崎市都市緑化植物園）において開催した。5月1日に改元を迎えるため、本年度が平成最後の開催となることから、平成時代に本市の花と緑のまちづくりへの貢献が顕著であった市民ボランティア団体4団体に対し、市長からの感謝状贈呈と活動風景のパネル展示ブースを設けて紹介するなど、平成時代を終えるに相応しい企画を取り入れた催しとした。

- ・参加者数 約8,500人（先着300人にベゴニアの花苗進呈）

(1) 式典

- ・日時 4月29日（祝）午前10時00分～11時30分
- ・場所 上坂部西公園（尼崎市都市緑化植物園）芝生広場
- ・内容

① 感謝状贈呈



団体名	活動内容
尼崎花のまち委員会	種から苗をつくり、街なみ街かどに花を植栽
髭の渡し花咲き会	武庫川河川敷に550万本のコスモスを植栽
アマフォレストの会	21世紀の森で、植樹などの森づくり活動を実施
むこっ子ロード整備実行委員会	武庫地区の水路周辺で自然とふれあえる空間づくり



(尼崎花のまち委員会)



(髭の渡し花咲き会)



(アマフォレストの会)



(むこっ子ロード整備実行委員会)

(2) ステージ（アトラクション）

- ① 園田学園中学校高等学校吹奏楽部演奏
- ② からたちドドンクラブ太鼓演技
- ③ からたち幼稚園児の歌唱
- ④ 尼崎市少年音楽隊バトン演技
- ⑤ 寄せ植え体験



(寄せ植え体験)



(からたちドドンコクラブ)



(尼崎市少年音楽隊)



(からたち幼稚園児の歌唱)

(3) 各種ブース等

環境関連の取組や蚤の市等、各種団体に出店等の協力をいただき、それぞれの取組をアピールした。

- ・参加団体 尼崎地区地球温暖化防止活動推進会・尼崎ネイチャークラブ・尼崎市資源循環課・尼崎環境財団・尼崎市シルバー人材センター



(ネイチャークラブ)



(資源循環課)



(シルバー人材センター)

(4) 公園での遊び

- ・日 時 4月29日(祝) 午後1時～4時 (一部午前10時から開始)
- ・場 所 上坂部西公園
- ・内 容 ツリークライミング、手作りおもちゃ、草木遊び、春の茶会、グリーンラリー、エア遊具(フアフア)
- ・実施団体 NPO活動ベスト、草木遊び塾、尼崎市内高等学校合同茶道部、尼崎東警察署、尼崎市都市緑化植物園グリーンヘルパー



(春の茶会)



(グリーンラリー)



(ツリークライミング)

(5) 緑の募金活動

緑化事業に資することを目的とした緑の募金活動として、花苗配布時の募金の呼び掛けや、フェスティバル参加者である尼崎市花いっぱい会、尼崎市立成良中学校生徒の協力を得て会場内で募金を募るなどの取組を行った。

- ・花苗等配布時 12,586円（先着300人にベゴニアの花苗進呈）
- ・園内での呼びかけ 3,526円
- 計 16,112円

(6) 春の花と緑と野菜の市

- ・日時 4月29日（祝） 午前9時～午後4時
- ・場所 上坂部西公園
- ・内容 花苗、野菜苗、鉢花、肥料、用土、園芸資材等の販売
- ・参加団体 尼崎市花いっぱい会・尼崎花のまち委員会・尼崎市菊花協会・尼崎阜月協会・尼崎小品盆栽山草会・尼崎洋ラン会他

(7) 飲食物の屋台

- ・日時 4月29日（祝） 午前9時～午後4時30分
- ・場所 上坂部西公園
- ・販売品目 尼バーガー・お餅・お茶・奈良漬・煎餅、クレープ等

(8) フェスティバル会場での展示

- ・尼崎市内の公園
- ・ベゴニア展



(尼崎市内の公園)



(ベゴニア展の展示)

2 緑化協力団体との共催展示会の開催(中央公園芝生広場内)

さつき展及び菊花展の開催を通じて、伝統園芸の深みと趣きのある作品を紹介して愛好家に楽しんでいただくとともに、関心を持つ人のすそ野を広げていくため、幅広い層の市民に足を運んで親しんでいただけるよう、展示ガイド、花苗等の販売コーナーの併設など工夫を凝らし、未来への継承に努めた。

名 称	開催期間	日数	内 容	入場者数	場 所
さつき展	5/18～5/26	9日	さつき盆栽など約160鉢展示	7,029人	中央公園
菊花展	10/29～11/11	14日	大菊3本立てなど約370点を出品展示	9,783人	中央公園
合計 実開催日数 23日間 入場者数16,812人					

- ・すそ野を広げる取組み（この取組みを含む催事全体の名称は「さつき祭」「菊祭」としている）

名 称	取 組 み 内 容
さ つ き 展	一般参加者向けガイド（18回 ※開催期間中毎日2回実施）
	花の園芸市・さつき苗等の販売
	年間栽培表などのパネル展示
	さつきの苗木無料配布
	市内高校生による野点
	市役所内でさつき展示、アルカニック広場で開催ポスター掲示等のPR
	Facebookへの投稿
菊 花 展	一般参加者向けガイド（12回）
	花と緑の園芸販売コーナー
	市内高校生による野点
	市役所と緑の相談所前及び上坂部小学校校門前に菊を装飾、アルカニック広場で開催ポスター掲示等のPR
	会場外のイベントを誘致し、来場者の拡大と滞留時間を伸ばす取組



（パネル展示）



（高校生による野点）



（各大賞作品）

3 生垣等助成事業

緑視率を高めることによる街並み景観の美化と防災効果のため、ブロック塀を生垣に作り替えたり、生垣を新設する経費の一部を助成

- ・ 助成対象…公道(公道と公道を結ぶ、幅員2.7m以上の私道を含む。)に面し、緑化の延長が概ね3m以上のもの
0.5m以上の高さの樹木を1m当たり3本以上植栽
設置後5年以上活用できるもの
- ・ 実績 1件
- ・ 延長距離 10.0m
- ・ 助成額 108,900円

4 保護樹木等の助成事業

尼崎市が指定した保護樹木等（単木63本・樹林43箇所）の保護養生に要する経費を所有者等に助成

- 指定基準…単木：地上高1.5mでの幹周1m以上、樹高10m以上
樹林：保護樹木を含む面積が300㎡以上

種類/地区	中央	小田	大庄	立花	武庫	園田	計
樹木	5本	17本	6本	9本	9本	17本	63本
樹林	3カ所 9,920㎡	11カ所 15,155㎡	2カ所 6,879㎡	8カ所 16,629㎡	9カ所 11,876㎡	10カ所 18,282㎡	43カ所 78,741㎡
今年度実績	0	1	0	2	0	1	4

- 今年度助成内容 強剪定
枯れ枝及び腐食部分除去他 4件
- 助成額 978,030円

◆ 収益等事業

I 収益事業

1 外郭・民間団体等からの受託業務

今年度も引き続き、JR立花駅前のマンション「フェスタ立花」の植栽管理業務、兵庫県立ピッコロシアターや、特別養護老人ホーム「ロータスガーデン」の花壇植替業務等を受託し自主財源の確保に努めた。

- 収益額 1,966,830円

2 花・植木等の販売事業

上坂部西公園緑の相談所では、園芸相談と併せて薬剤等の常時販売を行ったほかクリスマスのにシクラメンやポインセチアを販売するなど例年人気の高い植物をピックアップしての販売事業を実施した。また、「花のまちあまがさきチューリップ運動」の一環として、様々な催しに参加し、チューリップ球根の販売を行うなど、売上げの増加に努めた。

更に、学校等への年2回の通信販売「春季及び秋季の特別販売」を今年度も引き続き実施するなど、自主財源の確保を図った。

(1) 各催事での販売

販売名称	期 間	場 所
チューリップまつり	4 / 5、6、7	尼崎中央公園
全国ふるさと観光物産展	9 / 14、15、16	尼崎中央公園
園田カーニバル	9 / 15	園田競馬場
大庄まつり	9 / 15	ボートレース尼崎
尼崎市民まつり	10 / 6	橘公園
ふれあい広場武庫21（武庫まつり）	10 / 26	西武庫公園
農業祭	11 / 3	橘公園
季節の花散策 ～薔薇～	11 / 3	大井戸公園
小田まつり	11 / 10	清和小学校

- ・ 件数 9件
- ・ 売上 487,720円



(2) 注文販売

- ・ 期間 年間を通じて随時受け付け
- ・ 内容 花苗、野菜苗、鉢花、種子、用土、肥料などの注文販売
- ・ 対象 学校、公共施設、賛助会員等
- ・ 件数 28件
- ・ 売上 388,262円

(3) 通信販売

① 春季特別販売

- ・ 期間 4月1日（月）～4月24日（水）
- ・ 内容 トマト、ナス等夏野菜8品目と花苗、用土、肥料の販売
- ・ 対象 学校など
- ・ 件数 43件
- ・ 売上 929,490円

② 秋季特別販売（冬・春花壇用花苗等含む）

- ・ 期間 8月31日（土）～9月13日（金）
- ・ 内容 パンジーなどの花苗や用土、肥料と秋植え球根等52品目の販売
- ・ 対象 賛助会員、学校、花いっぱい会など
- ・ 件数 花苗及び資材38件 球根45件
- ・ 売上 1,097,560円

※上記の他、チューリップ運動球根、市民農園での肥料などの販売等を実施

Ⅱ その他事業

1 公共施設の立体緑化事業

兵庫県阪神南県民センター、尼崎港管理事務所などの公共施設の壁面緑化を手掛けイリオモテアサガオを植栽して壁面緑化のモデル花壇を施工し、立体緑化の普及に努めた。

2 兵庫県緑化関連窓口業務の実施

兵庫県が「緑」の保全、再生を目的として導入した「県民緑税」を活用して実施している各種緑化事業の申請窓口業務を受託し、緑の相談所などの各施設に募集案内を配布して、より多くの方からの応募を募るとともに、円滑な受付対応を心掛け、都市緑化推進の一助とした。

事業名称	内 容	取扱件数
緑化資材の提供事業	緑化活動グループ(自治会等)への緑化資材の提供	23件
県民まちなみ緑化事業	屋上や壁面緑化、校庭芝生化等緑化事業費の補助	10件

3 緑化協力団体等の育成事業

伝統園芸の保護・継承や、草花等による街の美化など、緑化の普及啓発に携わっている団体の活動援助、会員確保・増加の取組みのサポートのほか、展示会開催にあたり支援するなど、指導、育成及び連携を図った。

・緑化協力団体等関連団体一覧

団 体 名	会 員 数	団 体 名	会 員 数
尼 崎 市 菊 花 協 会	36名	尼 崎 洋 ラ ン 会	24名
尼 崎 阜 月 協 会	22名	尼 崎 小 品 盆 栽 山 草 会	26名
尼 崎 市 花 い っ ぱ い の 会	37名	尼 崎 花 の ま ち 委 員 会	589名
		計 6 団 体	7 3 4 名

【管理部門】

I 賛助会員の確保

当協会の緑化普及活動の趣旨に賛同し、緑あふれるまちづくりに協力いただく会員の確保に取り組み、緑化普及啓発の輪の拡大に努めた。近年は、個人会員の高齢化や企業の合理化等に伴い、会員数は減少の一途を辿っている。

・過去5年間の会員数

年 度	会員数	口 数
平成27年度	172件	331口
平成28年度	171件	324口
平成29年度	157件	295口
平成30年度	156件	275口
令和元年度	147件	264口

II 職員研修

都市緑化植物園等への参加や、近隣公園等の視察を実施した他、植物の専門的な知識等を学ぶ「長居植物園講座」に職員2名を受講させるなど、資質向上に努めた。また、作業機械の取扱教育にも現場作業員を含む18名が参加し、技術研鑽に注力した。



(都市緑化植物園連絡会議)

研修区分	月 日	研修先又は研修内容	参加者数
連絡会議	6月13日 14日	都市緑化植物園（緑の相談所）連絡会議 会場；松本平広域公園（都市緑化フェア会場）	1名
	10月24日 25日	（公社）日本植物園協会運営会議 会場；安城産業文化公園デンパーク	1名
近隣植物園等 視察研修	9月23日 28日 29日	明石公園（ひょうごまちなみガーデンショー）	3名
講習・講座等	毎月1回	長居植物園講座（11回） ※3月は新型コロナウイルス感染防止のため中止	延べ22名
	7月4日	兵庫県農薬管理指導士更新研修会	1名
	8月21日	チェーンソーによる伐木等特別教育	14名
	2月13日 14日	大径木伐採等（チェーンソー等）特別教育	3名
	1月24日	刈払機取扱作業安全衛生教育	1名
	2月25日	住友化学園芸(株)病虫害防除講習会	1名

Ⅲ 理事会、評議員会の開催

本年度は、尼崎中高年事業(株)緑化部門受入れに関する意思決定や、岩田前理事長の市副市長退任に伴う辞任を受けて森山理事長が新たに就任したことにより、例年を上回る理事会・評議員会が開催され、重要事項の決議をいただいた。

会議名称	開催日	場所	議案当
第1回臨時評議員会 (決議の省略によるみなし開催)	4月1日(日)	—	監事の選任
第1回理事会	6月10日(月)	緑の相談所講習室	30年度事業報告・決算他 中高年に係る市の考え方説明
定時評議員会	6月28日(金)	緑の相談所講習室	30年度事業報告・決算他 中高年に係る市の考え方説明
第2回理事会 (決議の省略によるみなし開催)	7月22日(月)	—	臨時評議員会の招集
第2回臨時評議員会	8月23日(金)	ヴィスキオ尼崎	理事の選任
第3回理事会	8月23日(金)	ヴィスキオ尼崎	理事長(代表理事)の選定
第4回理事会	11月29日(金)	緑の相談所講習室	中高年(株)緑化部門の受入れ
第3回臨時評議員会	12月24日(金)	緑の相談所講習室	中高年(株)緑化部門の受入報告
第5回理事会	3月27日(金)	緑の相談所講習室	2年度事業計画・予算他

Ⅳ 尼崎中高年事業(株)緑化部門受入れの意思決定と組織統合に係る課題整理

尼崎中高年事業(株)の令和2年度末解散に伴い、当協会が同社の緑化部門及び管理部門の人と業務を受け入れることについて、6月の決算理事会及び定時評議員会において、本件の市の担当課である経済特命担当が市としての考え方を示し、その場で意見交換がなされた。その後、関係者による会議体を設置して、課題の洗い出し、検討を行った結果、不確定要素はあるものの、協会の将来において本件がプラスに働くことが期待されると結論付け、11月の理事会において受入を承認、12月に臨時評議員会を開催してその旨を報告し、内部の意思統一を完了した。

以後、重要事項を意思決定する「会議体1」と、軽微な事項を検討する「会議体2」に体制を整備し、本年度は主に「会議体2」を集中的に開いて、実務レベルでの協議を重ねた。

・今後の主なスケジュール

令和 2年 6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	令和 3年 1月	2月	3月	4月
理事会 ・ 評議員会			就業規則等整備	公益認定等審査会		事務所移転			理事会 ・ 資産移管	新協会運営開始

V 新型コロナウイルス感染症に関する対策の取りまとめ

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）について、2年半ばから日本国内での感染拡大がはじまったため、2月25日に政府の新型コロナウイルス感染症対策本部から出された基本方針、26日の政府メッセージ並びに尼崎市から通知された「市が主催するイベント・集会等の取り扱いについて」の内容を踏まえた協会の対策を取りまとめ、3月1日付で職員に通達した。

《取りまとめた対策の項目》

- 1 対象期間
- 2 発熱時の対応
 - (1) 発熱など風邪の症状があるときの対応
 - (2) 感染が疑われるときの対応
- 3 感染防止策
 - (1) 公園内施設等利用者向け
 - (2) 協会職員向け
- 4 催事等の取扱い
- 5 感染者等が発生した場合の対応
 - (1) 業務の対応
 - ① 本部事務所及び緑の相談所配置職員に感染者等が出た場合
 - ② 公園等作業現場に感染者等が出た場合
 - (2) 休業時の賃金等の取扱い
 - ① 感染者
 - ② 検査の結果陰性となったが、使用者の自主的判断で休業させる場合
 - ③ 感染者との濃厚接触者を集団感染防止の観点から休業させる場合
- 6 その他

※その後、令和2年度に入り緊急事態宣言発出により、逐次対策を講じて取組を継続している。

VI 組織体制

